

# 3-1 仙台空港民営化の経緯

## 東北再興の条件「交流人口の拡大」

交流人口拡大の鍵

中部以西や海外からの誘客強化（航空旅客増加）

そのためには

航空路線の大幅な拡充（既存路線増便＋新規就航）

どうやって

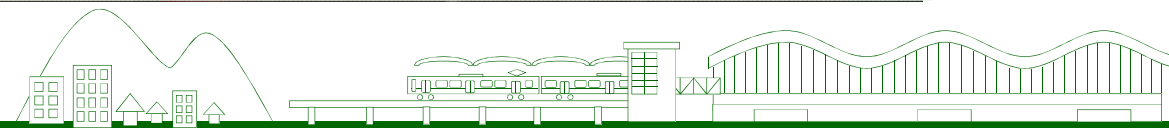
空港民営化

- ① 空港・関連施設の一体的経営，効率的設備投資で収益を改善
- ② 運営権者の判断に基づく柔軟な着陸料設定
- ③ 民間の知恵を活かした地域住民・関係事業者との連携

効果発揮

東北再興の拠点化

観光・ビジネス・物流等の空港機能を更に充実させ，  
東北全体の活性化を牽引する拠点空港へ



## 3-1 仙台空港民営化の経緯

### 仙台空港民営化までの動き

- 平成25年 7月 ・民活空港運営法施行
- 11月 ・民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する基本方針告示
- 〃 ・仙台空港特定運営事業基本スキーム(案)公表
- 平成26年4月25日 ・仙台空港特定運営事業等実施方針公表
- 6月27日 ・募集要項等の公表
- 〃 ・運営権者の公募開始
- 6～12月 ・宮城県による参加資格確認手続
- 12月～ ・国による選定手続
- 平成27年9月11日 ・東急前田豊通グループを優先交渉権者に選定
- 12月1日 ・運営権設定, 実施契約の締結
- 平成28年 2月1日 ・運営権者によるビル施設等運営開始
- 7月1日 ・滑走路を含む空港施設の運営開始**

